

ギリシャ概況(2018 年 9 月号)

1. 内政

- ・26 日 アリストティディス・フォカス中道連合議員が離党を表明し、無所属となった。

2. 外政

- ・4 日 コジアス外相がトルコを訪問し、在イズミール・ギリシャ総領事館改築記念式典に出席した他、チャヴシュオール外相と会談した。
- ・6 日 ル・ドリアン仏外相がギリシャを訪問し、コジアス外相と会談した。
- ・7 日 リンケービッチ・ラトビア外相がギリシャを訪問し、コジアス外相と会談した。
- ・7～8 日 ロス米商務長官が第83回テサロニキ国際見本市に出席した他、チプラス首相と会談した。
- ・10 日 コジアス外相がノルウェーを訪問し、ソーライデ外相と会談した他、ノルウェー国際問題研究所にてスピーチを行った。
- ・11 日 チプラス首相が欧州議会本会議(於:ストラスブール)に出席した。更に本会議の-marginにて、モスコビシ欧州委員経済担当と会談した。
- ・同日 ルート国連コンサルタントがギリシャを訪問し、コジアス外相と会談した。
- ・12 日 フリストドゥリディス・キプロス外相がギリシャを訪問し、コジアス外相と会談した。
- ・13 日 コジアス外相がギリシャ・キプロス・イスラエル3か国外相会合(於:イスラエル)に出席した。更に本会合の-marginにて、ネタニヤフ首相兼外相と会談した。
- ・同日 ヴェスタガー欧州委員競争担当がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
- ・14 日 コジアス外相がキプロスを訪問し、クリソストモス・キプロス大主教及びニコフォロス大司教と会談した。
- ・同日 コジアス外相がギリシャ・キプロス・エジプト3か国外相会合(於:エジプト)に出席した。
- ・16～21 日 クドゥラ観光相が国連世界観光機関主催「第7回世界都市観光総会」(於:韓国)に出席した他、ジョンファン文化体育観光部長官等と会談した。
- ・17 日 アナスタシアディス・キプロス大統領が Fristodouli Dis 外相及びプロドロム政府報道官と共にギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
- ・19 日 アヴラモプロス欧州委員移民問題担当がギリシャを訪問し、チプラス首相及びヴィツァス移民政策大臣等と会談した。
- ・同日 アール・サーニー・カタール副首相兼外相がギリシャを訪問し、チプラス首相及びコジアス外相と会談した。
- ・同日 ミツォタキスND党首が欧州人民党サミット(於:オーストリア)に出席した。

- ・19～20 日 ツァカロトス財務相が第13回年次ギリシャ・ロードショー(於:ロンドン)に出席した。
- ・20 日 マース独外相がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、コジアス外相、ミツォタキスND党首と会談した。
- ・23～28 日 チプラス首相及びコジアス外相が第73回国連総会(於:NY)に出席した。

3. 移民・難民問題

レスボス島及びサモス島における収容施設が定員の3倍、4倍に上る庇護申請者を抱えており、特に妊婦及び保護者のいない子ども達が困難な状況に直面しているため、本土への移送を実施中。

8 月 31 日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は 62,500 名 (UNHCR 発表)。

4. 経済

(1) 経済動向

- ・8～16 日 米国を主賓国とする「第83回テサロニキ国際見本市」が開催され、本会開式にて、チプラス首相が各分野の実績と政策に関する演説を行った。入場者数は過去最高の283,853名(去年は263,724名)だった。
- ・10～14 日 債権団代表が対ギリシャ支援プログラム終了後、初めてギリシャを訪問し、ギリシャ政府職員等と協議した。
- ・28 日 10月1日に実施される資本規制緩和(①国内における預金者一人当たりの銀行口座からの現金引き出しに係る規制の撤廃(注:海外における現金引き出しについては、1か月当たり5,000ユーロまで引き出しが可能)、②個人の現金の国外持ち出し限度額を現在の3,000ユーロから1万ユーロに引上げ、③法人の海外商業取引で、銀行取引委員会の承認を必要とせずに海外送金可能な限度額を、現在の1日4万ユーロから10万ユーロに引上げ、④ギリシャへの投資によって得た利益や配当金は、1年間に、投資額の100%まで海外送金が可能)が発表された。

(2) 財政

ギリシャ財務省が9月24日付で公表した1月から8月の財政統計によると、1月から8月の財政収支は12億2,000万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは31億5,700万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は318億6,900万ユーロで政府目標を9億3,700万ユーロ(3.0%増)上回り、歳出は330億8,900万ユーロと政府目標より12億2,700万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の 10 月 8 日付の発表によると、8 月の輸入総額は 44 億 6,190 万ユーロ(前年同月比 20.6%増)、輸出総額は 25 億 4,280 万ユーロ(前年同月比 25.0%増)となった。

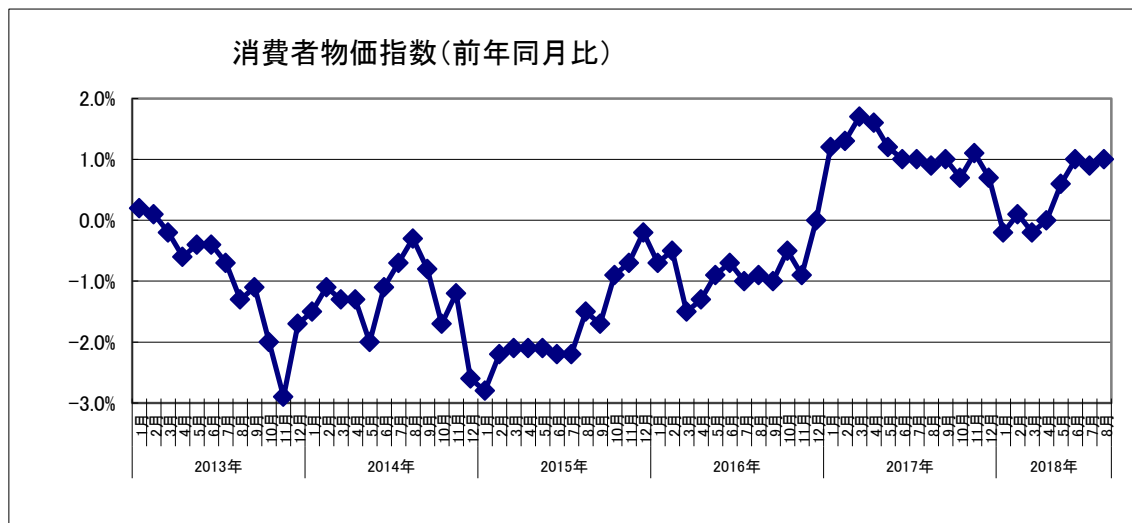
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETTE)の発表によると、7月の観光客は、383万2,333人で、前年同月比9.8%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が79万7,216人で(同18.1%増)で、テサロニキ空港が31万503人(同10.7%増)となった。

5. 經濟指標

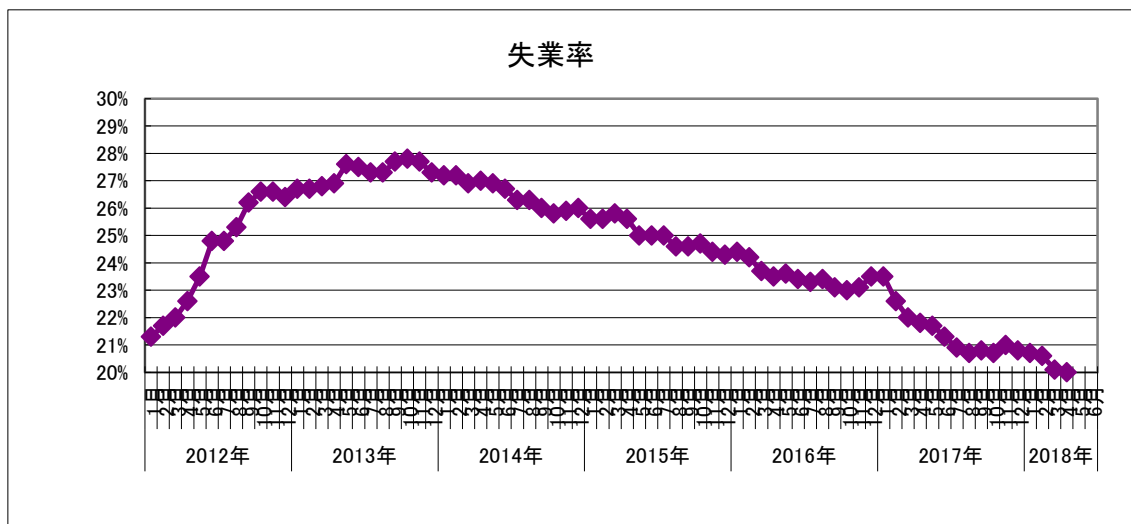
(1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の9月10日付の発表によると、8月の消費者物価指数は前年同月比1.0%増となった。



(2) 失業率

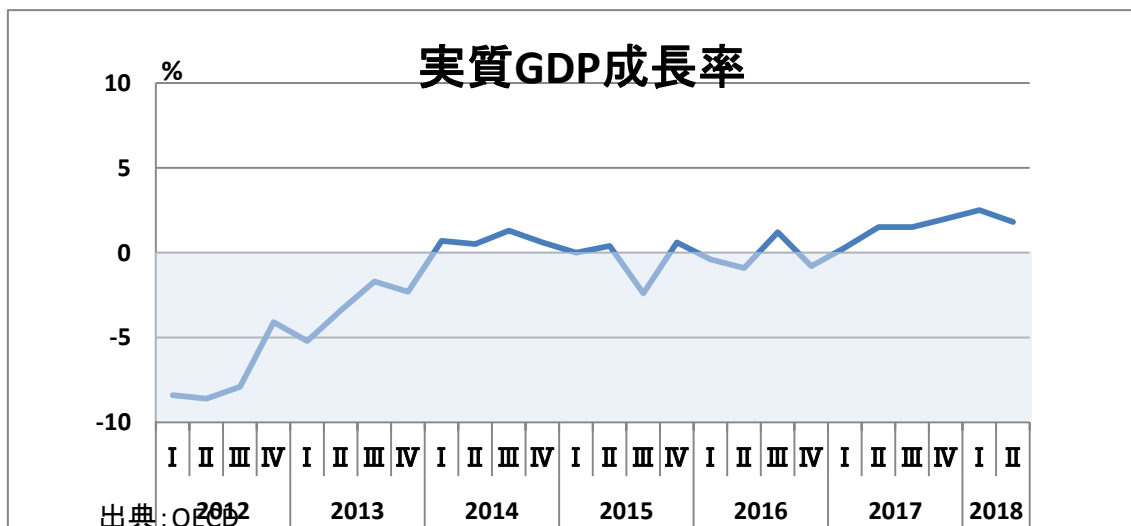
ギリシャ統計局の9月6日付の発表によると、6月の失業率は19.1%となり、前月から0.2%減少した。



※2018年5月の失業率は、ギリシャ概況（2018年8月）公表後、ギリシャ統計局により19.5%から19.3%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した

(3) GDP

OECDのデータによると、2018年第2四半期(4月～6月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス1.8%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。